

# 未来の但馬をつくるワークショップにおける意見

第3回 新温泉町 11月29日(日)開催

A班	
セッション1 (但馬地域の望ましい将来像)	セッション2 (望ましい将来像実現のために)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが活躍できる社会</li> <li>・廃村、廃校×</li> <li>・移住者受け入れ</li> <li>・衣装を充実</li> <li>・安全安心</li> <li>・若者が将来Uターンしてくれる</li> <li>・保育園とデイサービスの一体化</li> <li>・但馬内フェスティバル</li> <li>・居場所づくり</li> <li>・地域コミュニティ=多世代交流</li> <li>・風力発電は絶対だめ</li> <li>・のんびり生活(自然体験の喜び)</li> <li>・子どもがほっとできる聖域のような場所</li> <li>・おだやかな生活</li> <li>・AIにはないわがままな暮らし</li> <li>・自然がしっかり残っている</li> <li>・逆に生身(リアル)を残す。バーチャルでない世界</li> <li>・地元の美味しいモノが食べられる</li> <li>・学校が変わる、多様性が認められる</li> <li>・世界中の学校教育が受けられる・選べる</li> <li>・テクノロジー、バーチャル旅行</li> <li>・どこでもドアができて離れていても親の介護が出来る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かのために</li> <li>・全てに公平平等</li> <li>・機会の均等</li> <li>・ボランティアはおじさんパワー</li> <li>・但馬が自然の一大テーマパーク</li> <li>・楽しく認知テスト出来るようにして早期発見</li> <li>・多様・変化を受け入れる</li> <li>・地区の行事(村作業)などに移住希望者が参加して地区民と移住希望者が交流</li> <li>・広報=アナログ、SNSの工夫</li> <li>・交流のある生活、外に出る</li> <li>・なぜ?どうして?取捨選択を行う</li> <li>・アホになる!!</li> <li>・大人が自信を持って但馬を好きと言える</li> <li>・できること、したいこと</li> <li>・協働</li> <li>・事業でつながりを広める</li> <li>・継続</li> <li>・〇〇は大切だ⇒実際に体験活動</li> <li>・但馬の一次産業の県レベルでのトライやるウィーク</li> <li>・ジオパークガイド日本遺産ガイドの育成</li> <li>・中高で但馬を離れる(中高生の都会留学)</li> </ul>
B班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の良さを地域の内外に周知する</li> <li>・不便を楽しむ(自然を残す)</li> <li>・自然を大切にするために一次産業を盛り上げる</li> <li>・発信をどんどん出来るようにウェブデザインに優れた人を取り入れる</li> <li>・世界に向けた発信、漁師 YouTuber</li> <li>・外国の人と漁業体験(日本人と外国人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の美しさが残っている</li> </ul>

C班

セッション1

- ・自然がいっぱい、いいところが沢山残っている、つながりがある優しい社会
- ・自然いっぱい
- ・美味しいモノがたくさんある
- ・自然がもっときれいであってほしい
- ・新しいことへの挑戦、今の良いところの維持
- ・新しいことに挑戦していく
- ・色々な面で注目される
- ・若い人を呼び込める
- ・観光客に喜んでもらえる街
- ・色々な国からお客さんがきてほしい
- ・アイドル活動を活発にしてほしい
- ・移住者がふえてほしい
- ・色々な人と交流出来る場所
- ・習い事、イベントがもっと沢山あってほしい
- ・地域の関係性をもっと深く
- ・つながりがある優しい社会
- ・弱者に優しい、子育てに優しい社会
- ・遊びやすい町
- ・いろいろな人がいる
- ・移動が楽
- ・但馬がある！但馬をすきでいたい！必要とされてほしい！
- ・とにかくみんなが笑顔に慣れる但馬
- ・市町村の垣根を感じない
- ・2020年に考えたことが本当になっている
- ・但馬がある、但馬を好きでいたい
- ・世界(日本でも)必要とされる但馬である
- ・自分の子どもが但馬に帰ってきている

セッション2

- ・自然を知る、体験する
- ・自然の良さを知る機会
- ・学校などでもっと但馬の自然に触れる機会をつくる
- ・緑化活動（木を植える）
- ・クリーン作戦
- ・インスタなどオンラインの活用、取り入れ（遠隔!!）
- ・遠隔でのイベントをする。（足の悪い人も参加できる、感染リスクも減らせる）
- ・インスタ等を利用したイベント（映えるスポットをつくる）
- ・ブランドをつくる
- ・（豊岡）演劇により生じる化学反応を楽しむ
- ・観光資源を見い出す
- ・地域の行事継続
- ・地域住民などが観光客を案内できる（遠隔）システムをつくる
- ・PR活動（SNS等の活用）
- ・交流会みたいなものを開く
- ・住みやすい街づくり
- ・公園など子どもが遊べる場をつくる
- ・子育て世代に対する制度の充実
- ・交通手段を増やす（電車が増えてほしい）
- ・優しい社会→（子育て世代への）補助金
- ・親子の具体的に「こいうしてほしい」という要望を聞いて、そして実行！
- ・バリアフリー化を進める。車椅子の方や高齢者も気軽に暮らせて観光も出来る
- ・心に余裕を持ち続ける
- ・ネガティブをおさえ、ポジティブを解放する
- ・（若い子に）生き様をみせる
- ・笑いのココロを忘れない
- ・コロナ禍を乗りきる（誰も責めない）

**D班**

**セッション1**

- ・つながる但馬
- ・人と人との交流がどんどんできる但馬
- ・山陰道の早期完成
- ・歴史を再認識
- ・多様な人々が暮らしやすい
- ・暮らし方イキイキ
- ・小さい経済圏
- ・自給自足
- ・ジェンダーギャップの解消
- ・但馬牛、神戸ビーフの益々の発展
- ・嫁に来てもし淋しくない環境
- ・都会に出た若者が戻ってきたいと思える但馬
- ・子どもが遊び回れる
- ・のんびりしたい
- ・地元の人を楽しめる町
- ・高齢者の方がイキイキ
- ・子ども、若者、観光客が多い
- ・いいところはそのまま、新しいことも取り入れる
- ・但馬の自然を守ろう
- ・文明は維持・進歩
- ・多様性のある社会
- ・地球健康
- ・CO<sub>2</sub>ゼロ
- ・今と変わらず、自然豊かな但馬であってほしい

**セッション2**

- ・つながる但馬
- ・学校と学校の交流の場
- ・選ばれた人の大会や交流ではなく、ざっくりとした交流（小学校では自然学校）
- ・色んな人がいることを知る
- ・但馬、各市町のPR
- ・ICTを普及させる
- ・ICTを活用し高校間、中学間でも交流
- ・暮らし方イキイキ
- ・誰でも参加できる交流会（子育て関係なく気軽に集える場所）
- ・サークルを作る、活用する
- ・河川インフラを復活させる
- ・健康になるための教室（薬に頼らない生活、自分で自分の体を守る）
- ・地域づくりコミュニティを但馬全域に
- ・移住者に空き家や耕作放棄地を提供する
- ・医療・教育など生活環境の充実
- ・ある種のイベントの参加義務化（ただしサポートは全力で）
- ・農業従事者育成機会を増やす
- ・田畑を耕す
- ・耕作放棄地を再耕し、農業従事者を募集する
- ・但馬の自然を守ろう
- ・マイカー利用を減らす
- ・ロケットストーブの普及
- ・包装をなくすため、自分たちで容器をつくり持ち寄る（ゴミをつくったら儲かる）
- ・自然に興味を持てる教育
- ・但馬に住む一人一人の努力

E班

セッション1

- ・他の地域から羨ましがられる地域
- ・子ども～ご高齢の方まで、誰もが自分らしく輝いて生きる楽しさを実感できる但馬
- ・外国にルーツを持つ若い人の力を活かす
- ・外国人だけでなく国内域外の方々、多様な属性の方々も集う街
- ・一人一人が地域活動のクラウドファンディングをしても集まる但馬
- ・他社や他者を認められて協力できる但馬
- ・同地域における同業種間の協力体制
- ・異業種交流の場、機会の創出（サロン等）
- ・若者、馬鹿者、よそ者も活躍できる地域にしたい
- ・但馬のよさを生かしていくほうが、但馬が生き残れる
- ・自然を活かす等、田舎ならではの良さを高めていく
- ・メタンハイドレートなどの新型エネルギーの開発と活用ができる自立した但馬
- ・実証実験できる地域
- ・コロナを好機にリモートで仕事可能にし、生活が充実する地域に
- ・IT回線、インフラの整備
- ・居住者だけでなく関係人口を増やしたり、ワーケーションを上手に利用できる但馬

セッション2

- ・自分達の地域問題を自分事として、皆で取り組む
- ・1次産業の応援と6次産業の育成
- ・農業、漁業関係の規制緩和
- ・地域に合った公共交通の整備
- ・ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの活性化
- ・免許返納後の支援をどうするのか
- ・地域通貨の活用（車の乗り合い、木の剪定等）
- ・ICTの活用が得意でない人に教えられる環境づくり  
→お助け隊結成 まずは文化協会の会員から
- ・コミュニティ・コミュニケーションの充実
- ・平等という名の不公平をなくす

F 班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな変化や進取の精神がある但馬を目指す</li> <li>・ 多世代に魅力的</li> <li>・ 心身ともに健康に暮らせる</li> <li>・ 社会インフラが整備されている</li> <li>・ 心の余裕の生まれる豊かな生き方ができる</li> <li>・ 誰にもやさしい但馬</li> <li>・ テクノロジーを活用した経済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な人が交流できる場所づくり（居場所づくり）を充実させる</li> <li>・ 職場（学校）でも家でも無い、サードプレイスを増やす</li> <li>・ 但馬の良いところは自然が豊かなところ。コロナが収束したら観光で輝く</li> <li>・ 但馬の宝：メタンハイドレードを活用すべき</li> <li>・ Work is life の世界へ！</li> <li>・ 過程、プロセスを評価する==&gt;ティール組織</li> <li>・ デジタル環境を但馬の隅々まで作り上げる →公民館のデジタルハブ化</li> <li>・ 仕事：作業ではなく、自己肯定感、生きがいのある仕事をつくっていく</li> <li>・ 但馬を支える一次産業を支援する</li> <li>・ 仕事は但馬にはある</li> <li>・ 作業ではない仕事を増やす</li> <li>・ 但馬で生活を立てるテレワークを増やす</li> <li>・ 熱中できる夢のある人が沢山住む但馬であってほしい！</li> </ul>